

サヌカイト採取報告

7月13日(日)坂出市の金山に石包丁の素材・サヌカイトの採取に行きました
参加者は井関収一、内田智子、大橋英美子、香山誠、田中良枝、西江清吾、藤田英樹の7氏と小沢の8人です。

朝から強い雨の中、9時に早島ICに集合、2台の車に分乗、カッパ着用での作業を覚悟しながら坂出市に向かいましたが、幸い瀬戸大橋の上で雨もあがりました(昨年も坂出市役所に着くまでは大降りの雨でしたが金山へ着く頃にはあがりました。毎年、出発時には雨にたたられるようです)。

坂出市役所で現地案内者の森、瀧下、角野の3氏と落ち合い、金山へ出発。今年は昨年行った場所とは違い金山の東斜面の果樹園の周辺で採取することとなり、すぐそばまで車で乗り付けることができ山道の登山は免れましたが、雨上がりの斜面は滑りやすく、草をかき分けながらの採取となりました。マムシも顔を見せてくれてひやひやしながら1時間程で50~60kgの原石を採取しました。

採取後、坂出市長の綾市長も歓迎に来て下さり、麓の茶店でトコロテンをご馳走になりながら歓談しました。有り難うございました。

サヌカイトという石器時代から我々の祖先が刃物や武器として利用してきた(広範囲からサヌカイト製の打製、磨製の石器、鏃などが出土している。当時の流通範囲を知る上で参考になる)めづらしい石の産地として坂出市の広報に協力しなくてはと思います。採取してきたサヌカイトの原石は石包丁には大きすぎるサイズが多いので小割してから利用することになります。

石包丁の作成は既報のように8月24日(日)13:30から昨年同様に考古学者の柳瀬昭彦氏(岡山商科大学特任教授)を指導者をお願いして実施する予定です。

平成26年7月16日 小沢記



麓のトコロテン屋さんにてご馳走になる



参加者一同（ササケは土嚢袋どかの中）



マムシが出てきた（ササケは足元の草に隠れている）



出てきたマムシ